

蕨市立病院建替 ―今と未来―

検討状況

議会から提案し設置された「市民説明会」・「審議会」にて様々な意見を伺い、4月からは2千人の市民を対象にアンケートも実施。市議会議員で構成される「特別委員会」も月に1回程度開催し議論を深めています。新翔会は、徹底的な現状分析と将来予測で、今まで以上に地域医療を支え、市民から必要とされる病院を目指します。

蕨市独自の“都市型ハイブリッド病院”をめざして

新翔会では、自治体病院改革の第一人者・城西大学の伊関友伸教授の講義に参加。全国的な課題や先進事例に加え、蕨市そして地域医療連携を踏まえて、下記の背景や項目を含む「都市型ハイブリッド病院」を提案し検討を続けます。



- ワクチンも無いコロナ初期の受入や、救急医療、被災時の後方支援など全国で自治体病院は大きく貢献。蕨では南部医療圏での連携、地域医療を支えながら経営改善も目指す視点が必要。
- 高齢化が進み看取りを行う病院は必要。在宅診療も増加。数億円する医療機材で高度医療を行う病院は早期退院を推奨しているため、地域には回復期を担う病院も必要。
- 環境変化と医療連携を視野に、病床体制は「急性期、回復期、慢性期、地域包括医療、地域包括ケア」を柔軟に配置。診療科は医師確保を前提に住民ニーズに沿った検討。
- 全室個室化（個室差額料無し）で「入院環境改善、感染症対応、病床割合の柔軟性、病床稼働率改善による経営改善」を。
- 医療と経営改善の要は医師確保。女性医師増加も背景に医師の働き方改革・専攻医受け入れに特化した医師不足対策が必須。
- 総合診療医の配置や、地域包括支援ケアシステムの中心となるコミュニティホスピタルとしての検討。
- 地域連携室と専門職の拡充。（ニーズの高まる地域包括ケア病床への転換にも重要）
- 看護師不足が原因で入院を断る病院がすでに有る。人口減による看護師不足は今後の大きな課題。
- 看護師確保の先進事例（住居支援、院内保育所や休憩室の充実、ラダー研修、認定看護師等人材育成、資格者手当、全看護師スマホ貸与やセンサー導入による業務効率・負担軽減等）
- 看護助手や給食職員の確保、病院経営が出来る医療事務専門職員の重要性。
- 院内に救急隊常駐のワークステーションを設置し、消防・医療・看護の連携、救急隊員の研修機能を強化。必要に応じて医師等が同乗するドクターカー導入の検討。
- 入院患者の受入増は地域医療と経営面でも重要。救急の担当医師・救急隊・地域住民との丁寧な対話が必要。
- 併発方式による建築費の圧縮と質の向上を（例：CM方式＝発注者の立場に立った専門家が設計から建築まで支援、DCI方式＝実施設計の段階から建築施工者が参画し技術協力を行う方式）
- 総建築費61億円の40%まで国の補助金を活用出来る可能性有り、要件の研究検討を。（市は25%の補助で想定中。40%適用には近隣の基幹病院との協定締結・機能分化を行うなど特例措置が必要）
- 自治体病院の病床割合が多い県ほど、医療費が抑制できている（迅速で適正な医療の提供）



蕨市に特化した膨大なデータを基に学びました
（※左から3人目が伊関教授）

蕨市議会 保守系会派 新翔会

新翔会ニュース

Shinsyokai News

第3号
新年度号
発行日
令和6年4月25日

蕨の未来、皆さまと進めます！



南町桜並木にて 令和6年4月2日

新年度が始まりました。新翔会では、会派要望を当初予算へ反映すべく3月定例会を終えたところであります。

蕨市では、昨年度は様々な決断がなされました。信濃わらび山荘の廃止や、年度末には市立病院の錦町地区への移転建て替えに踏み切りました。併せて新年度は、どのような病院であるべきか、どのような病院にしていけるかなど、新庁舎建設に次ぐ、大きなプロジェクトがスタートいたします。

また当市の出生数は、2～3年という短いスパンで一時的600人台から400人台まで下がってきております（出生率は0.84と県内全市中最低位）。産後ケア、子ども食堂など子育て施策の充実

も図ります。少子化対策の面からも一助になって欲しいと思っております。

新しい分野としては、持続可能な社会実現のために、脱炭素に向けた事業も積極的に進めていく必要があります。これからは世界や社会の流れをしっかりとらえながら活動していかなければなりません。

世間ではさらにも増しての値上げラッシュ。家計圧迫の声もしっかりと受け止めております。これからもその声を施策提案で形にしていきたいと思います。まちは若葉の季節を迎え、躍動感にあふれてまいります。フレッシュな気持ちを大切に今年度も様々な視点から市民生活を考えてまいります。

新翔会会長 前川 やすえ

市民相談のご案内

前川 やすえ	Tel 048-446-3740	大石 圭子	Tel 048-431-0431	古川 歩	Tel 048-433-9887
比企 孝司	Tel 048-444-0658	小林 利規	Tel 048-446-4116	橋本 よしかね	Tel 048-441-5375
庄野 航二	Tel 048-443-0660	岡田 三喜男	Tel 048-444-8810	金丸 けんじ	Tel 090-6108-5841

公共施設へのWi-Fi設置

令和2年度から児童生徒に対して1人1台の教育用端末が導入されました。それに合わせ各公民館でも勉強できる環境、そして災害時に向けたWi-Fi環境を整備するべきと長年強く要望を出してきましたが、ようやく公民館入口付近のみ導入されることになりました(災害用のような多くの接続はできません)。留守家庭児童室ではまだ導入予定もありません。他市に比べ導入の遅れている公共施設へのWi-Fi設置を要望してまいります。



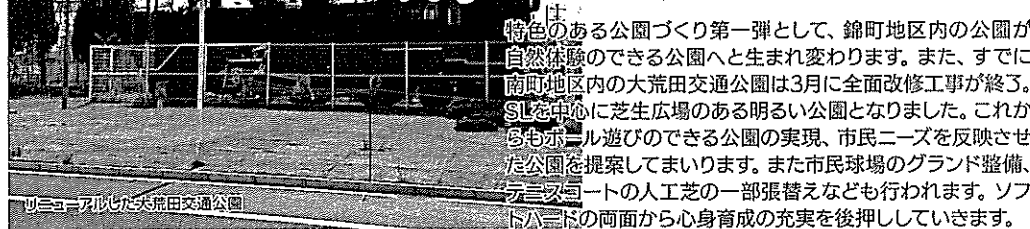
带状疱疹ワクチン接種補助

※写真はイメージです
带状疱疹は、免疫力の低下が原因で80歳までに人口の3分の1が発症するともいわれ、有効な予防法はワクチン接種です。健康長寿社会実現と予防医療のため、ワクチン接種補助を要望し令和6年度予算に盛り込まれることが決定しました。蕨市に住む50歳以上の方で令和6年4月1日以降の接種など条件があります。詳しくは、保健センターへお問合せください。(保健センター電話：048-431-5590)

シェアサイクル

シェアサイクルは、都市内に設置された複数のサイクルポートを相互に利用できる利便性の高い交通システムです。通勤・買い物などの日常的な利用から、観光振興などの公共的な交通としても重要な役割を担っています。本市においても、令和5年5月から実証実験を行っています。市の公共用地9か所にステーションを新たに設置し、民有地に設置されたステーションと合わせて市内15か所でシェアサイクルの運用を実施しています。健康維持や環境への配慮など、注目されている事業ですので、今後も事業の検証と更なる推進に尽力していきます。

憩いの場・特色のある公園づくり第一弾に着手！ スポーツ環境の整備も改善！



特色のある公園づくり第一弾として、錦町地区内の公園が自然体験のできる公園へと生まれ変わります。また、すでに南町地区内の大荒田交通公園は3月に全面改修工事が終了。SLを中心に芝生広場のある明るい公園となりました。これからはボール遊びのできる公園の実現、市民ニーズを反映させた公園を提案してまいります。また市民球場のグラウンド整備、テニスコートの人工芝の一部張替えなども行われます。ソフトボールの両面から心身育成の充実を後押ししていきます。

地域福祉計画の策定と地域包括ケアシステムのさらなる構築

埼玉県63市町村で唯一計画を策定していない蕨市ですが、ワークショップの開催や関連団体からのヒアリング等を通じ地域の福祉的課題を抽出し、令和6年度にようやく策定となります。これによって「住み慣れた地域でいつまでも生活ができる」ことを目標とする地域包括ケアシステムも大きく前進します。地域を守る大切な計画です。



地域防災力の向上

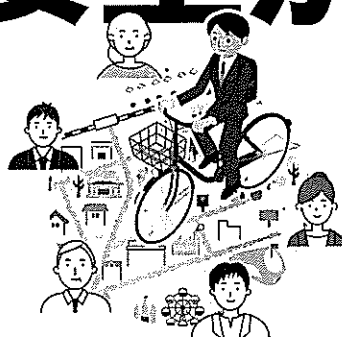
9年ぶりに蕨市地域防災計画が更新されました。頻発する地震対策に限定しても

- ①被災建物の判定を行う蕨市応急危険度判定士の充実
- ②災害時の上水道の安定供給
- ③ペット同行避難ガイドラインの早期作成
- ④車中泊避難所の開設要望
- ⑤在宅避難の重要性和趣旨の周知
- ⑥マイナンバーカードの活用
- ⑦防災証明書書の迅速な発行

など多岐にわたり、まったなしの対応が迫られています。



新翔会の要望が実現!!



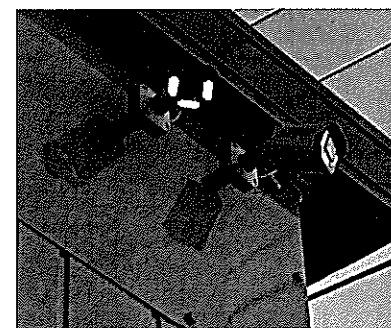
みんなが輝く！ もっと子育てが 楽しいまちへ

今年度予算で実現します⇒①当事者の声やこどもの権利を大切に「こども計画の策定」②留守家庭児童室の増設 ③核家族や共働きが多い蕨での産後ケア事業の拡充 ④子ども食堂の開設 ⑤お困りの家庭への無料の学習支援や受験費用の補助 ⑥ヤングケアラーの把握と個別支援など。ただし、対応未定の課題も多くあります。全ての親子がもっと笑顔で暮らせるまちを目指し提案を続けます。



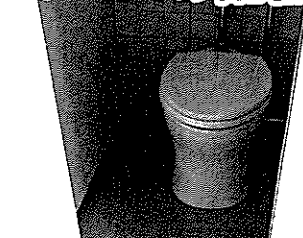
子ども食堂、親子の居場所、産後ケアなど1ヶ所ずつながれる施設が中央2丁目に開設

防犯カメラの導入に補助



自宅や地域における犯罪等を未然に防止するために、カメラ設置費補助事業を実施してほしいと要望していたものが本年度実現します。家庭用は上限20,000円、共同住宅は上限100,000円。導入費用の2分の1となり、導入前の申請が必要となります。安心安全のまちづくりを一緒に行っていきましょう。

全校トイレの洋式化・DXルームの配置



令和7年度～令和9年度にかけて改修工事を行い、全小中学校トイレの洋式化が完了する予定となりました。またICT教育推進のためのDXルームが既に設置されている第一中学校に続き、今年度は第二中学校に導入される事になりました。未設置の東中学校へのDXルーム設置を含め子供たちの教育環境充実の為に要望してまいります。

新・市立病院への要望書を提出

市民サービス向上/経営改善に向けて37項目の要望書を提出。
その一部を要約し掲載します。



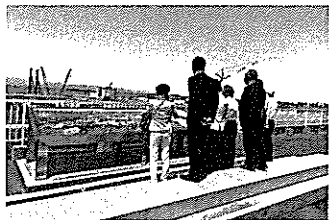
全文はこちらに
掲載しております

- ① 医師確保が医療提供体制でも経営面でも要である。地域医療ニーズに応じた医師確保に更なる尽力・工夫をすること
- ② 医療職員のスキルアップ・設備投資・診療報酬加算はサービス向上に加え収益になる。経営的な観点で研修と投資を行うこと
- ③ 高度急性期医療を担う近隣病院の後方支援型病床として、急性期病床の一部を回復期や地域包括ケア病床への転換を図ること
- ④ 病院内での看取りや、訪問診療、レスパイト入院、介護施設からの受け入れなど、地域包括ケアシステムの中で役割を担い、地域連携の拠点となること
- ⑤ 産後ケアも含めて地域に求められる産婦人科の診療・入院サービスを検討すること
- ⑥ 総合診療科導入の有用性と可能性について具体的に検討すること
- ⑦ 待ち時間短縮、受付・予約方法の簡略化、交通アクセス向上を図ること
- ⑧ 感染症に対応できる機能を有すること
- ⑨ 病院内での蕨市救急隊の研修（ワークステーション設置）の有用性について検証し、必要な設備を確保すること
- ⑩ 個室数を増やすメリットについて検討すること
- ⑪ 病院機能維持のため免振構造で建設すること。また、国に対して免震構造への追加補助が出るよう求めること
- ⑫ 震災や水害時での業務継続と被害軽減の機能を有すること

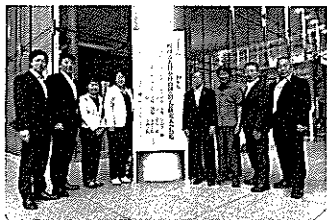


視察・研修先一覧 一現場にこそ学びが有る一

- | | |
|---------|---|
| 5/10 | 第一中学校DXルーム（活用事例）ステップアップルーム（不登校支援） |
| 5/17 | 埼玉県大久保浄水場（計画中の水道水の高度浄水処理施設、災害時対応） |
| 5/28 | 彩の国子ども・若者支援ネットワーク（市内での困窮家庭向け学習支援） |
| 5/30-31 | 日本自治創造学会研究大会（議会改革、少子化、行政DXなど） |
| 6/24 | 戸田市立東小学校（全教科での電子黒板活用、課題解決型学習）
戸田市立教育センター（不登校児がリラックスして学べる居場所） |
| 7/19 | 県南7市治水大会（激甚化する豪雨災害への備え。県・国へ要望書） |
| 8/1 | 荒川第二・第三調節池工事（令和12年に完成し荒川の越水氾濫対策に） |
| 8/21 | 蕨障がい児者を守る会 講演会（居場所としての暮らしの場の必要性） |
| 8/27 | 埼玉県荒川水循環センター（下水処理、処理単価、災害・液状化対策） |



埼玉県大久保浄水場



日本自治創造学会研究大会。於明治大学



戸田市のDXルーム



蕨駅西口再開発現場にて 令和6年9月6日

初めに、能登豪雨災害でお亡くなりになられました方々に心よりお悔やみを、被災されました方々にお見舞いを申し上げます。元日に発生した大地震に続いた災害。かける言葉も見つかりません。今一度、皆さまと一緒に心を寄せていくこと、そして今回の災害からの学びを、しっかりと市政施策に生かしていかなくてはならないと思っております。新翔会でも、防災、また災害対策については県の重要インフラ施設へもおもむき、意見交換、研鑽を積み、執行部に改善にむけての要望・要求をしております。

さて9月定例会が終わりました。9月の定例会は決算議会ともいわれ、令和5年度の決算に対する審議が主となります。新庁舎建設事業、西口駅前再開発の着工など、大きな事業の進捗が見られたものの、市民生活圧迫といわれる物価高騰の動きは市政運営にも大きな影を落としています。資材、人件費の高騰はもちろ

なんでしょう。本年度事業および令和7年度の当初予算編成には大きな影響が出てくるものと考えます。

蕨市立病院の移転建替については今年度末に向けて基本構想を策定中です。令和5年度に関しては、市の一般会計から2.5億円を繰り入れても、更に3億円超の赤字決算です。県内の公立病院の多くが赤字決算でしたが、不採算部門を引き受けて、市民のために赤字もやむなしという考えが付きまといまいます。構想段階だからこそ公立病院の在り方を蕨から変えていきたい。その思いで会派一丸となって進めております。教育現場の環境整備、生活環境整備、一人暮らしの高齢者への支援など目に見える課題も意見・要望をいただいております。変える勇気、変わるアクションをおこすことで、蕨を動かしていきたいと思っております。これからも市民の皆様の声を市政に届けてまいります。

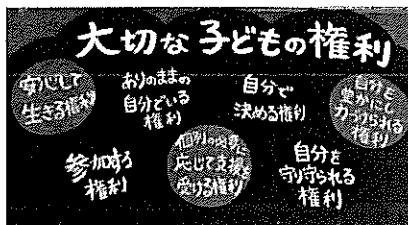
新翔会会長 前川 やすえ

市民相談のご案内

前川 やすえ	Tel 048-446-3740	大石 圭子	Tel 048-431-0431	古川 歩	Tel 048-433-9887
比企 孝司	Tel 048-444-0658	小林 利規	Tel 090-3212-1762	板本 よしかね	Tel 048-441-5375
庄野 航二	Tel 048-443-0660	岡田 三喜男	Tel 048-444-8810	金丸 けんじ	Tel 090-6108-5841

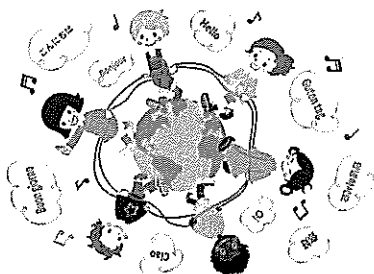
ひとり一人の 未来に寄り添える 教育環境の充実

こども基本法が制定されて「①誰一人取り残されず将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現②こどもの声をまちづくりに活かすこと」が明文化されました。蕨市でも多様な子どもたちへの丁寧な聴き取りが行われました。子どもたちからの願い・希望・時に悲痛な叫びに応えるため、行政の縦割りを超えた政策推進を強く要望します。



川崎市子ども夢パークにて

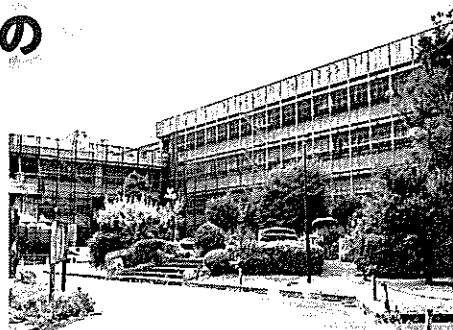
外国人住民政策の早期検討 (生活・学校・地域・病院などの問題)



外国人比率は、昨年4月に10.5%、今年1月に11.2%、9月には12.1%になっております。すでに色々と地域では外国人住民との問題、ゴミ出しや騒音なども上がってきている中、今後はもっといろいろな問題が発生するのではないかと考えられます。それらの問題が起こってから後手後手で対応するのではなく、先を見据えた政策を早期に検討し、外国人住民を含めた全市民が安心して暮らせる蕨市となるよう要望します。

公共施設・学校施設などの 総合管理計画の改定

新病院の建設、複合施設としての西公民館の新設決定は、従来の総合計画の年度計画にはないものとなっております。このことにより大きく変更を余儀なくされた施設もあります。今一度、しっかりとした方向性、計画を立てることにより、現状の見える化をお願いするものです。9月定例会においても、次はどこに何が必要なのか明確な答弁がなかったように思います。



外壁塗装が決まった第二中学校

要望書を提出!!

1. 市民に求められる市立病院基本構想・基本設計の策定
2. 蕨駅西口再開発事業と合わせた、新たな中心市街地活性化プランの策定
3. 公共施設・教育施設などの総合管理計画の改定
4. ひとり一人の未来に寄り添える教育環境の充実
5. 災害対策の具体的な強化策の提示
6. 省庁派遣を含むDX人材の育成・確保とデジタル戦略の推進
7. 地域経済を支える小規模事業者への必要な経営支援
8. 予防医療の推進と全世代での健康増進
9. 高齢者単独世帯への支援を含む地域包括ケアシステムの充実
10. 防犯対策のさらなる推進
11. 錦町土地区画整理事業の早期推進
12. 外国人住民政策の早期検討(生活・学校・地域・病院などの問題)

全体として：蕨市議会での議論・他市の事例も踏まえ、より踏み込んだ事務事業評価及び、将来に向けたメリハリ有る予算編成

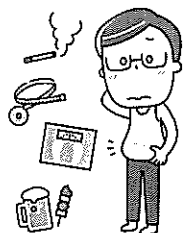


災害対策の 具体的な 強化策の提示

本年3月に見直しが行われた「蕨市地域防災計画」には、地震災害・風水害・火災等への対策が掲載されていますが、計画の見直し前と比べて強化したポイントというのが若干わかりにくいようにも感じます。いざという時に市民の皆様ひとりひとりが迷うことなく行動を起こせるよう、具体的な強化策の提示を求めます。



予防医療の推進と 全世代の健康増進



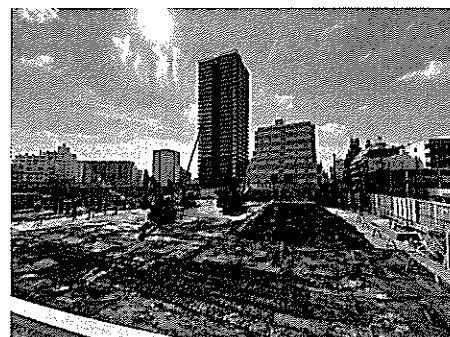
スシティに伴い、生活習慣病予防は、こどもの頃からの習慣が大きく影響を及ぼします。健康づくりはまちづくりと大いに関連していく事から健康に対する意識づくりが必要である為、行政としてできる限り市民への健康づくりの支援を考えて頂きたい要望を致します。

「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンに掲げているスマートウェルネスシティに伴い、生活習慣病予防は、こどもの頃からの習慣が大きく影響を及ぼします。健康づくりはまちづくりと大いに関連していく事から健康に対する意識づくりが必要である為、行政としてできる限り市民への健康づくりの支援を考えて頂きたい要望を致します。



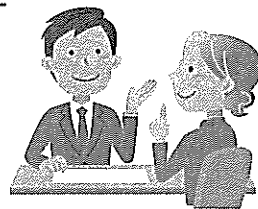
蕨駅前再開発事業

現在くるる隣に B棟の地下工事が進行しています。B棟の3階には公共施設の図書館、行政センターが入り1・2階には商業施設スーパーマーケット等が出店予定です。また別棟のA棟とあわせ415戸の住宅、駅室付近への連絡通路も整備されます。2027年7月竣工予定です。会派要望した市街地活性化プラン策定の核となる事を期待しています。



工事中の蕨駅西口再開発現場

高齢者単独世帯への 支援を含む地域包括 ケアシステムの充実



令和2年の国勢調査で蕨市の一般世帯数のうち高齢世帯の割合は32.2%であり、そのうち高齢単独世帯の割合は35.1%で国や県を大きく上回っています。1人暮らしでも住み慣れた地域で自分らしい暮らしが送れる支援体制はますます必要とされます。そのための一人暮らしの高齢者が相談できる担当係も必要です。

1. 全国的にも病院が赤字決算となる中で

●市立病院も年間 約3.1億円の赤字

令和9年度迄に赤字解消を目指す目標だが、達成できない場合には市が補填する可能性も

市が提示した対応策

- ①欠員中の医師確保に全力
- ②病床利用率を55%⇒73%へ
- ③地域連携/診療時間の拡充

2. 建設費・物価高騰を受けて

●移転建替え費用は 100億円 を超える見通し

(医療機器約12億円、利子約20億円を含む)
(昨年末の移転決定時には約72億円で提示)

市が提示した対応策

- ④赤字解消に加え、20億円の建設基金を更に積み増す
⇒他の政策への影響も有るが

3. 新翔会は多くの改善・提案を行う

◎新規感染症や大災害への対応強化

◎予約システム導入や待ち時間の解消

◎診療科や医療機器見直しによる赤字解消

◎高齢人口増を見越した介護施設との連携や在宅医療

◎ガンの個別健診/人間ドックの充実

◎全市内からアクセスしやすい環境整備

◎地方公営企業法の全部適用を検討

◎産後ケアの拡充/産科の個室化 他多数

数十年前まで影響が及ぶ移転建替えに向け、議論を尽くします

荒川第二・第三調節池工事視察

8月1日、保谷武庫議に同行し視察しました。令和12年度の完成を目指し彩湖上流に整備中です。令和元年度東日本台風では荒川流域にも被害が発生しましたが、工事が完成していた場合、岩渕水門地点で30～40cmほど水位を下げていたと推定されています。建設DXも活用し整備が進められています。



自民党・田中代議士に要望書を提出

12月20日、自民党本部に出向き、地元選出の田中良生代議士に要望を提出しました。蕨市立病院移転建替え事業への耐震化・免振化、医療提供体制の整備に対する国からの支援。また、いわゆる「年収の壁」引き上げに伴う地方税取減への懸念に対する特別交付税の増額など、市民の為の安定した市政運営に向け財政支援を要望しました。



市民相談のご案内

前川 やすえ	Tel 048-444-3740	大石 圭子	Tel 048-431-0431	古川 歩	Tel 048-433-9887
比企 幸司	Tel 048-444-0658	小林 利規	Tel 048-444-4116	橋本 よしかね	Tel 048-441-5375
庄野 航二	Tel 048-443-0660	岡田 三喜男	Tel 048-444-8810	金丸 けんじ	Tel 090-6108-5841

新翔会ニュース

Shinsyokai News

第5号
新春号
発行日
令和7年1月27日

蕨の未来、皆さまと進めます!



市民会館にて 令和7年1月6日
写真左から金丸・庄野・小林・古川・前川・大石・比企・橋本・岡田

新年あいさつ ～しなやかに、たくましく～

新たな年の初めを迎え、皆さまにおかれましては健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

昨年の元日に起きた能登半島地震から一年が経ちました。新年の希望に満ちた思いが断ち切られるスタートであり、いまだに続く断水に豪雪も加わり復興が心から待たれるところであります。

今年はどんな年になるのだろうかと思いを巡らせたとき、いまだに収束しないウクライナでの戦争、中東問題を始め、物価・人件費高騰、人材不足、安全安心な生活を脅かす闇バイト問題など話題は尽きません。蕨市政においては新市立病院の移転建て替えをはじめ、当市がやるべき

施策をしっかりと実行していくための市政運営・計画の再考も必要と思われます。

私たちの生活や活動も、コロナ禍を経て新しい形で戻ってきました。変化の波に飲み込まれない判断と行動が求められます。

今年は巳年。「再生と変化」の年と言われ、脱皮し強く成長することから「不老長寿」の象徴だそうです。当市もしなやかに、したたかに進める一年であれと願います。

市民の安心安全な暮らしと蕨の未来のために新翔会は力強く邁進してまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

新翔会会長 前川やすえ

市長へ予算要望を行いました 早期実現に向け尽力します



令和6年11月22日 撮影

※本掲載分は抜粋です。
全163件の予算要望は
webをご参照ください。
下のQRコードからご覧
いただけます。



総務部



- ◎行政評価の対象拡大などPDCAサイクルの推進
- ◎デジタル機器に不慣れな方へのスマートフォンなどでのサービス利用を支援

- ◎市有地跡地等の活用(旧市役所仮設庁舎、市立病院、市立図書館、塚越プール、旧旭町公民館など)
- ◎市税支払いへのカード払い、電子決済のさらなる拡充
- ◎不動産業界と連携した空き家の積極的な流通
- ◎シェアサイクル事業者とのさらなる連携

市民生活部



安全安心課

- ◎町会と協力して町会加入を促進
- ◎児童・生徒の安全対策、防犯対策
- ◎内水災害への備えとして、浸水センサ設置による浸水情報及び市内気象観測データの自動配信
- ◎避難所である蕨市民体育館アリーナへのエアコン設置の検討
- ◎国籍を問わずゴミの分別がしやすいよう、資源回収カゴにピクトグラムを掲示するなどの工夫を検討

商工観光課

- ◎小規模事業者等への支援制度の拡充
- ◎民間事業者とも連携した空き店舗対策
- ◎市役所仮設庁舎跡地に予定している「にぎわい交流拠点」の整備事業においては、新たな視点を模索しつつ費用対効果を見据えた丁寧な検討をすること

市民協働課

- ◎多文化共生指針について実態に即した見直し

医療保険課

- ◎生活習慣病の予防・啓発・個別相談のさらなる拡充

健康福祉部

福祉総務課

- ◎地域福祉計画の着実な実施
- ◎障がい者支援の充実

健康長寿課

- ◎介護を必要としていない高齢者への介護予防事業の拡充(男性参加者数の向上や行動変容を目標に民間委託も検討)



生活支援課

- ◎自立支援事業・学習支援事業のさらなる強化

子ども未来課

- ◎ヤングケアラーの把握と支援
- ◎学童指導員・保育士への研修と支援の充実(発達障害を含む)
- ◎公立保育園・留守家庭児童室の修繕を計画的に実施
- ◎子どもの居場所づくりの推進

保健センター

- ◎災害時の保健衛生対応の強化
- ◎母子健康手帳アプリなどの導入

都市整備部



道路公園課

- ◎公園施設の適切な管理
- ◎用途別公園設置の検討(ボール遊び・自然体験・スケートボードなど)
- ◎全ての跨線人道橋での、耐震化を含む改修工事の早期実施

下水道課

- ◎下水道の耐震化と長寿命化

まちづくり課

- ◎西口駅前再開発期間における通行の安全確保

教育委員会



生涯学習スポーツ課

- ◎複合施設となる西公民館の丁寧な設計・施設管理
- ◎図書館移設までの期間、施設老朽化によるサービス低下を招かないようにすること

教育総務課・学校教育課

- ◎学校の建替えについて(学校建設後40～50年が経過しているため、長期的な視点による学校建替え基準及び計画を策定すること)
- ◎不登校児童をうまいのプラン策定及び、全ての子どもが学びにアクセス出来る環境整備を図ること
- ◎現在設置してあるDXルームの活用推進、並びに蕨市立東中学校へのDXルーム設置を図ること

消防本部 消防団

消防本部・消防署

- ◎人的消防体制の適正化(定年制度改正及び働き方改革を踏まえた体制整備)

消防団

- ◎装備の充実(個人装備含む)



新翔会 ニュース

Shinsyoukai News

令和7年度
発行日
令和7年3月24日
号外



会派控室にて（左から）岡田三喜男、栃本よしかね、比企孝司、大石圭子、前川やすえ、古川歩、小林利規、庄野航二、金丸けんじ

私ども蕨市議会 新翔会は日々市民の皆さまから多くのご意見、ご要望をいただいております。3月定例議会において令和7年度の予算が審議され、一般会計予算総額は過去最高規模の約322億円となりました。国・県の補助金活用を推奨し、市民の負担を抑えての予算実現です。

構成比率としては、民生費は相変わらずの推移ではありますが、教育費が約12%と2桁台に上

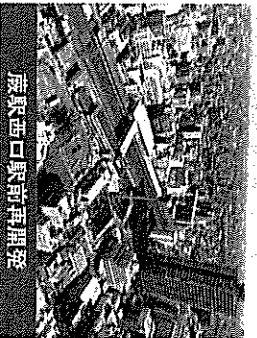
がったことは評価するところであります。

物価高騰、人件費高騰など蕨市を取り巻く環境は決して余裕があるものではありません。しかしながら新翔会の要望に対して多くの予算措置がされました。さらなる市民サービス、事業実現を目指し、しっかりと活動してまいります。

これからも新翔会は市政の発展のため皆さまと一緒に進めてまいります。

令和7年度 新翔会が提案・要望し、予算化された主な事業をお伝えします

暮らしやすいまちのために



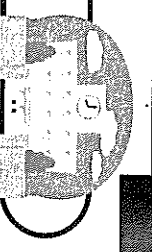
蕨駅西口駅前再開発



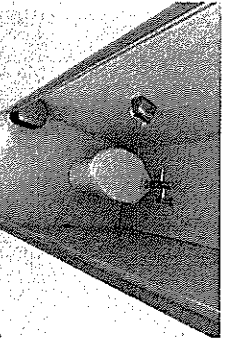
改修中の蕨跨線人道橋

- 蕨駅西口再開発事業への支援（約15.4億円）
- 新たな中心市街地活性化プランの策定
- 西口銀座商店街通りの拡幅整備事業を推進（約6900万円）
- 蕨跨線人道橋の改修並びに耐震化工事（約9100万円）

教育環境の充実



- 「東・南・中央小学校」のトイレを100%洋式化（3校で約4.1億円）及び令和8年度に改修予定の「西・北・中央東・塚越小学校」の全トイレ改修の設計
- ※中学校3校の全トイレは令和9年度改修予定
- 教育用1人1台端末の一斉更新（約3.5億円）
- ICT教育支援員を1人から2人へ増員（約1700万円）
- 不登校児童一人ひとりに寄り添う教育支援センターを全中学校内に整備（約2400万円）
- 主に小学校児童や保護者の相談を受けるスクールカウンセラーを増員（約490万円）
- 東中学校内に日本語特別支援教室を増設（約540万円）
- 東中学校のパソコンルームをDXルームに整備（約1700万円）

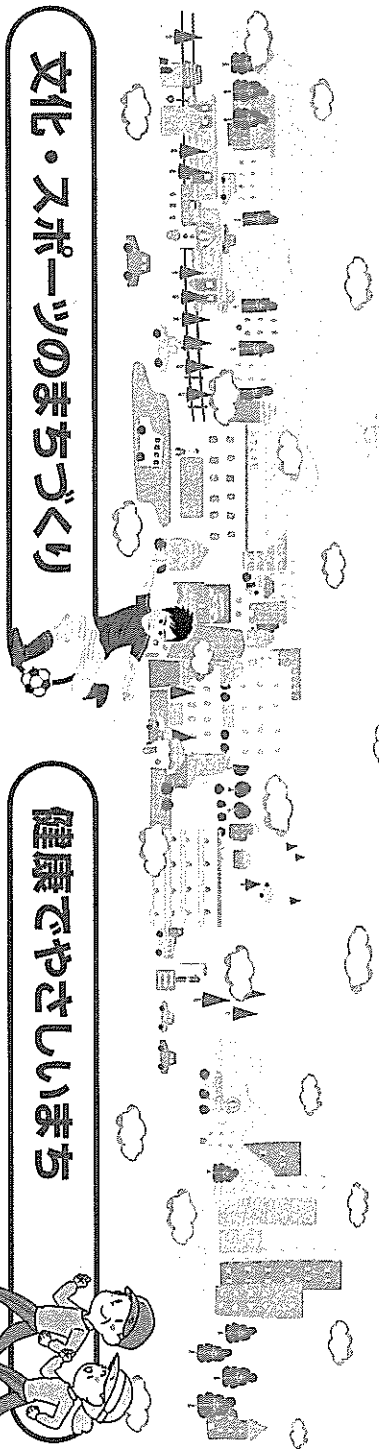


東・南・中央のトイレを改修



全児童の教育端末を更新





文化・スポーツのまちづくり



廣市民会館コングレジホール



改修予定の塚越グラウンド



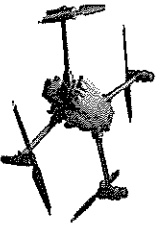
アピリアンケア用ウェアック



廣市民公園の健康遊具

- 廣市民会館コングレジホールの客席、舞台照明設備や舞台床、ホール床等をリニューアル (約6.3億円)
- 廣市民公園にボール広場を整備するための実施設計 (330万円)
- 塚越グラウンド改修のための基本設計 (約820万円)
- 錦町スポーツ広場への防犯カメラ設置とベンチに日除けの屋根を設置 (約520万円)

災害対策の強化



災害用ドローン



救助避難ボート

- 公共施設への太陽光発電/蓄電池導入調査 (約960万円)
- 災害対応ドローンの導入と消防職員の研修 (約930万円)
- 道路冠水をリアルタイムで検知、状況を確認できる浸水センサを市内7ヶ所に設置 (約13万円)
- 下水道の管路耐震化計画策定委託 (約3900万円)
- 消防団に水害救助用ボートを4艇配備 (約310万円)
- ラップ式トイレ等災害対策用備品の整備 (約3000万円)
- 消防本部庁舎の自家発電設備更新の設計 (約790万円)
- 消防隊仮眠室を個室化 (約4700万円)

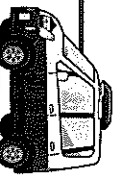


豪雨時の市内浸水の様子

健康でやさしいまち

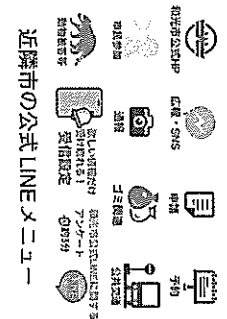
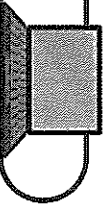
- 母子健康手帳アプリの導入 (約450万円)
- 乳がん検診個別化、胃がん検診拡充、前立腺がん検診の開始 (がん検診等委託料約1.1億円)
- がん治療に起因する外見の変化に苦痛を感じるがん患者が利用できるウェアックや補整具等アピリアンケア用品購入助成 (34万円)
- AYA世代 (20～39歳) の終末期がん患者の在宅療養の生活支援 (約110万円)
- 市内7ヶ所にウオーキングコースを設置、歩道の整備や健康遊具の設置など、スマートウェルネスシティの推進 (約2000万円)
- 介護人材確保のための補助金 (約130万円)

防犯対策をさらに推進



- 駅前を中心とした青色防犯パトロールカーによる防犯対策 (約150万円)
- 特殊詐欺被害を防止する通話録音機能付電話への補助枠を20万円増 (100万円)

デジタル市政の推進



文書作成に生成AIを導入
録画映像は生成AIで作成

- 廣市LINE公式アカウントの導入 (約200万円)
- 庁内業務効率化に向けノーコード開発ツールの導入 (約62万円)
- 庁内文書作成等に生成AIを活用 (約13万円)

市民相談のご案内

廣市議会 保守系会派 新翔会
新翔会 ニュース
Shinsyougai News

前川 やすえ	Te 048-446-3740	大石 圭子	Te 048-431-0431	古川 歩	Te 048-433-9887
比企 孝司	Te 048-444-0658	小林 利規	Te 090-3212-1762	板本 よしかね	Te 090-3539-4790
庄野 航二	Te 048-443-0660	岡田 三喜男	Te 048-444-8810	金丸 けんじ	Te 090-6108-5841